

世界で最も知られ、最も感動的なたとえ話です。このたとえ話にはおよそ福音とは何か、その全てが含まれています。

父のもとを離れた放蕩息子

弟は父からの財産を受け取り、「すべてのものをまとめて遠い国に旅立った。そして、そこで放蕩して、財産を湯水のように使ってしまった」（13）。そして一切を使い果たした後、大飢饉が起り、食べる物にも窮し、豚飼いにまで落ちぶれ、飢餓状態になり、誰も助けてくれなかつたというのです。

弟の遠い国に旅立つ姿は父との絶縁を表わし、その生活に見る放蕩の快樂、湯水のように使う浪費、飢饉飢餓から来る死の恐れ、助ける者のいない孤独、これはまさに神から離れた人間の様相です。神との交わりを失った人間の自己中心性、快樂、浪費、虚無、孤独、死の恐れがこの弟に映し出されています。

しかし、ここに一大転機が訪れました。弟は人生のどん底で「我に返った」のです。本来あるべき自分の姿に目覚めました。父の雇い人と比べ自分は餓死寸前です。神と父の前で罪を認めた彼は、息子と呼ばれる資格のないその破れたままの姿で父のところに帰る決心をしました。「そんな姿で帰れ

るのか」との声も彼の心に響いたでしょう。しかし彼はおんぼろさんぼろわかめの行列のような姿で父のもとに向かいました。まさに「悔い改め」の姿です。それは「罪を認め」、「ありのままに神に立ち返る」方向転換の姿です。

待ちわびる父

いよいよ父親が登場します。さあ、父の姿をご覧ください。「ところが、まだ家までは遠かったのに、父親は彼を見つけて、かわいそうに思い、駆け寄って彼の首を抱き、口づけした」（20）。遠く離れていた息子を見つけるということは四六時中、一瞬たりとも目を離さず、待ち続けてこそできることです。驚くばかりの待ちわびる愛です。しかも変わり果てた彼を息子とわかる父の目！そしてかわいそうに思っけたりふり構わず駆け出し、抱きついて接吻するとは！沸騰する愛、息を飲むばかりの物凄い父親の姿です。

息子の詫言（わびごと）を耳にも入れず、しもべたちに命じた父親の言葉をしっかりお聞き下さい。汚れ果てた衣に換えて最上の衣、息子の証明としての指輪、泥靴に代えて新しい履き物、そして肥えた子牛を屠って楽しむ至福の交わり、ここに父なる神が画く最高の救いの絵画があります。最上

の衣、指輪、新しい履き物、そして祝宴！新しい衣を着せられた息子を見れば過去の罪さえ忘れてしまふ、罪の赦しと義認の絵！指輪をはめられ、聖霊の証印を受ける聖化の絵！罪の泥靴を脱ぎ、新しい履き物で歩く新行歩の絵！子牛を屠り祝宴を開く、豊かな神との交わりの絵！待ちわびる父、走り寄る父、抱擁する父、もてなす父に無尽蔵の恵みがあふれます。

放蕩息子の兄

最後は兄息子の登場です。畑から帰り、賑わう音を聞き、何ごとだとしてもべの一人に聞くと、「あなたのご兄弟がお帰りになりましたので、お父様が、肥えた子牛を屠られたのです」（27）との答え。兄は怒って家に入ろうともせず、父親が出て来てなだめたというのです。兄の不満の言葉の中には父親の戒めを破ったことがなかったという自称義人の姿が浮かびます。

第一に放蕩息子に対し、罪人と呼ばれている者に対し、愛と赦しがなく、交わりを求めず、彼らを裁く姿です。「遊女と一緒に財産を食いつぶした息子」と言い、父が「おまえの弟」（32）と呼ぶのに「あなたの子」（30、口語訳）と突き放すのです。

第二に自分の義の報いを求め、父に不満を抱き、自分の幸いを喜びません。それは息子でありながら、雇い人の姿と言えるでしょう。

子やぎ一匹もくれなかつたと不満をぶちまけ、父親と一緒にいる幸い、父のものが全て自分のものであるとの幸いに気づいていません。

第三に父との交わりがなく、弟への父の痛みと愛を共有できない姿です。ですから弟が帰って来た時のあの父の喜びと感謝を共有できません。暑さにつけ、寒さにつけ、食べるにも眠るにも、「今ごろ、あいつはどうしているだろうか」との父親の弟息子を案じる心がありません。迷える羊のたとえや失った銀貨のたとえには、羊飼いや女性の友人や近所の人たちの心配がありました。ですから「一緒に喜んでください」と嬉しさを共有できました。しかし兄にはそれができません。

今私たちに罪人と呼ばれている人々への愛、交わりがあるでしょうか。神の子の特権を真に喜んでいるでしょうか。「死んだ人々」への痛み、「生き返った」人々への大感謝があるでしょうか。

今も創造主なる神から離れた多くの「放蕩息子」がいます。祈りをもって伝道しましょう。その人々が本心に立ち返る転機、罪あるまま神に立ち帰る決断に聖霊の働きを祈りましょう。待ちわびる父なる神、走り寄る父、抱擁する父、もてなす父に、父なる神の無尽蔵の恵み、無限の愛を知りましょう。放蕩息子の兄の姿に倣わず、神と交わり、神の痛みと喜びを心から共有する者になりましょう。